

教科 公民 科

科目	公共	学年・コース	1 学年	コース	単位数	2 単位	区分	必修
学習の目標		現代社会、国際社会の中で生きる日本人として、公共の意識を持ち、幅広く貢献できる判断力や見識の基本的資質を培います						
教科書		『公共』 (実教出版)						
補助教材等		『テーマ別資料 公共』 (東京法令出版)						
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1 学期	4	社会を作る私たち			青年期の意味、職業生活の意義や社会参加を通じた生きがいを学習する。			6
	5	人間としてよく生きる			よく生きるとは、幸福とは何かを宗教や哲学を通して、それぞれの考え方価値観を深めさせていく。			8
	6	他者とともに生きる 民主社会の倫理			公正な社会とは何か、また、平等・自由・権利について、学習する。			8
	7	民主国家における基本原理			個人と国家、基本的人権と法の支配について学習する。			8
2 学期	8	日本国憲法の基本的性格			日本国憲法の性格や自由権、平等権、社会権、新しい人権や平和と安全保障について学習する。			8
	9							
	10	日本の政治機構と政治参加			日本の政治機構について、また、参政権の意義について学習する。			8
	11	現代の経済社会			市場のしくみ、景気変動、財政、金融機関の役割について学習する。			8
	12	日本経済の特質と国民生活			戦後復興からの日本経済の流れや日本経済の問題、消費者問題を学習する。			4
3 学期	1	国際政治の動向と課題			国際法、国際連盟・国際連合の成立や冷戦期からの国際政治の流れ、加えて人種・民族問題、軍縮を学習する。			4
	2	国際経済の動向と課題			貿易など、国際的な経済の動向と、第二次大戦後の国際経済の歩みなどについて学習する。			8

評価の観点	知識・技能	用語の意味、歴史の流れを的確に理解し、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができるか。
	思考・判断・表現	幸福とは何か、などそれぞれのテーマに対し自分の価値観をもち、発表できるか。
	主体的に学習に取り組む態度	現代社会の諸課題、公共の意義について、主体的に構想することができるか。